



今年も市内各小中学校で、運動会が開催されています。運動会のやり方は、学校によってそれぞれですが、子どもたちの健やかな体を養うため、学校教育活動のひとつとして行われます。また、日頃の学習の成果を学校内外に発表することで、ご家族や地域の方々が子どもたちの新たな一面を知ったり、一緒に協力して何かを成し遂げたりできる貴重な機会です。

写真は、6月に行われた大平南中学校の大縄跳びの瞬間です。

### 栃木市教育のスローガン

## 「ふるさとの風土で育む 人づくり・まちづくり」

～とちぎ未来アシストネットの推進～

「とちぎ未来アシストネット」とは、学校・家庭・地域の連携により、地域ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育むとともに「地域の活性化」を図る本市独自の教育システムです。



## 新任教育委員の紹介



令和元年5月18日をもって、任期満了となった若林由美子委員に替わり、翌19日から大橋孝子委員が教育委員として加わりました。大橋委員の思いとともにご紹介します。



大橋 孝子 委員

### 略 歴

- ・市内小学校教諭を経験
- ・学習塾を経営
- ・少年補導員に従事
- etc…

この度、3人の子供を育てる現役保護者代表として教育委員となりました。就任後のひと月、教育委員会として、多岐にわたる仕事があることに大変驚くとともに、委員の皆様や市職員の方々の仕事に対する熱心な姿に感銘を受けています。私自身も多くの学びをさせていただいています。微力ではありますが、保護者としての目線を忘れず、教育に携わる者として、より多くの子どもたちの笑顔あふれる栃木市を目指して、努力してまいります。



## 教育委員の研修レポート

教育委員会の業務は幅広い分野にわたっており、教育委員についても、常にその職務遂行に必要な知識の修得に努める必要性が高まっています。そのため、教育委員は各種研修に参加しています。

### 「八王子市立高尾山学園の取組について」

「鎌倉市教育委員会の防災教育・小中一貫教育の取組について」

研修日：令和元年7月4日～5日

不登校児童・生徒のための体験型学校、八王子市立高尾山学園での子ども達の生き生きとした笑顔に見送られ、鎌倉へ。観光地である鎌倉は、過去に大地震、それに伴う大津波に数度襲われたことがあるそうです。

津波シミュレーション動画にはその恐ろしさ、速さにショックを受けました。動画では、“8ミニッツ”地震発生から8分以内に安全な高台に避難するよう呼びかけています。

いつどこで何が起るかわかりません。もしもの場合の津波避難建物、避難所開設情報、気象情報のチェックを忘れずに！

西脇 はるみ 委員

### 「2020年度からの小学校プログラミング教育の円滑な実施に向けて」

研修日：令和元年8月2日

「読み・書き・そろばん」が主流の平和な数百年のあと、「読み・書き・パソコン」の時代になって、皆ざわめき、浮足立ちました。ITは自主作動が必須ですので、「読み・書き・プログラム」が主役となるのを悟った偉い人たちは、ようやくチャート発想を小学生の基軸学習と捉えたのです。AIやらIoTやらの概念を、教師たちが顔を真っ赤にして勉強する令和の今日、車に揺られて山梨まで。内容は難しいが、脳にやさしいであるはずの研修会が楽しみです。

林 慶仁 委員





## 栃木市教育ニュース



栃木市教育委員会では、生涯学習を基盤とした社会の構築を目指して、本市ならではの教育を推進しています。今号の『栃木市教育ニュース』では、教育委員の活動の一部を市民の皆様にお知らせします。

### 総合教育会議

市長と教育委員が意見を出し合い、教育施策の方向性を共有するため、「総合教育会議」を年に3回開催しています。今年度の第1回目は7月8日（月）に開催し、「LGBTについて」「組織体制について」等を話し合いました。

LGBTに関わる学校現場の現状については、子どもたちの戸籍上の性別によらない呼び方や、グループ分けに配慮していること、施設面などの対応を共有しました。また、潜在的に性的マイノリティーの子どもたちがいることを前提として環境を整えていくこと、子どもたちだけでなく、保護者も対象とした性に関わる人権教育の重要性を確認しました。

総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、教育課題や目指す姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

協議・調整事項として、「教育条件の整備など重点的に講ずべき施策」や「緊急の場合に講ずべき措置」などが考えられています。緊急な場合とは、いじめ問題により児童生徒の自殺案件が発生した場合や通学路で交通事故が発生した場合など、児童生徒の生命・身体に関わる場合を想定しています。

荒川 律 委員



### 学校訪問

教育委員が学校現場の実情を知り、児童生徒と触れ合う場として、年に10校程度を目途に市内小中学校を訪問しています。今年度の訪問は、皆川城東小学校からスタートしました



学校へ行き子どもたちの笑顔を見ると安心する。そしてこの笑顔のために日々奮闘している先生方に頭が下がる。

子どもたちにとって、小中学生の頃に友達や先生方と共に過ごした日々は、愛しい「記憶」として心に残る。「記憶」には喜びも悲しみもあるけれど、その記憶が未来の自分を励まし、慰め、奮い立たせてくれるはずだ。どうか、栃木市で学ぶ子どもたちが今日も笑顔で過ごせますように。

福島 鉄典 委員



# 定例教育委員会の予定



7月26日現在

日時	場所(市役所本庁舎内)
9月27日(金) 13:00～	501会議室
10月25日(金) 9:30～	議会会議室
11月29日(金) 14:00～	501会議室
12月27日(金) 9:30～	議会会議室
1月27日(月) 9:30～	議会会議室
2月25日(火) 14:00～	501会議室
3月30日(月) 9:30～	議会会議室

月に1回、定例教育委員会を開催しています。本市の教育委員会の方針や施策を話し合い、教育委員の合議によって決定します。会議は原則公開となっているため、傍聴することができます。また、会議録を市のホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

定例教育委員会に臨むにあたって、常に大事にしていることが3つあります。

- 1.教育現場に積極的に足を運び、子どもや先生方と直に関わることを大切に、定例会での情報を共有します。
- 2.質の向上を目指し、能動的に発案することに努めています。
- 3.市民全ての方々に、教育委員の在り方や役割が「見える化」推進のため、この広報の活用や活動に尽力しています。

後藤 正人 委員

## 教育長通信 ～「みんなちがってみんないい」～



「シートウ、ジェンツ、プー！」体育館狭しと集まった全校児童を前に、元気いっぱい母国のじゃんけんを披露する中国籍の子どもたち。次はヘジャブ\*で頭を覆った女子児童たちがペルシャ語で、その後もタガログ語で、ベンガル語で、ネパール語で、スペイン語でと続きます。7月の体育館は、それぞれのお国自慢の「じゃんけんぼん」を一生懸命紹介しようとする外国籍の子どもたちと、目を輝かせながら飛び上がらんばかりに色んな国のじゃんけんを真似してみる子どもたちの心と心が響き合い、熱気で満ちあふれていました。

これは、市内の小学校でロング昼休みを利用して行われた「ワールド集会」の一コマです。この学校には現在6か国籍19名の外国人児童が在籍しています。市内に2か所ある日本語指導拠点校の一つでもあることから、他校からの通級児童生徒を含めると、多いときで10か国籍以上の子どもたちが集う、まさに多文化共生の学び場です。校長先生は言います。「言葉の問題は時間が解決してくれる。それより、学校を国際交流の種まきの場と捉え、人権文化の創造と発信に力を尽くしたい。」

今年4月の入管法改正に伴い、全国的に今後ますます外国人児童生徒の増加が予想されます。法改正の是非は問わずにせよ、子どもの頃から自然な形で違いを尊重し合う体験を積むことで、多様性を受容する資質能力を育む好機と捉えてはどうでしょう。そのことが、依然として残る様々な人権課題の解消やいじめ等の未然防止にも繋がればと期待したいものです。

\*ヘジャブ:イスラム圏の女性が、人前で髪を隠すのに用いるスカーフ。ヒジャブとも。

教育長 青木 千津子

### 編集後記

“教育委員会だより 絆” は市民の皆様にも、教育への関心を一層高めてもらうため、‘開かれた教育委員会’としての活動を「分かりやすく」「親しみやすく」紹介していきます。

※ご意見・ご感想は  
こちらまでお寄せください。

栃木市教育委員会教育総務課 〒328-8686 栃木市万町9-25  
電話:0282-21-2467 FAX:0282-21-2689 Email:kyoumu@city.tochigi.lg.jp